

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                            |   |          |
|----------------|----------------------------|---|----------|
| ○事業所名          | 子ども療育ステーションここふわ 港川         |   |          |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 20日 |   |          |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 1 | (回答者数) 1 |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 20日 |   |          |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 25日               |   |          |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                      | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                      | さらに充実を図るための取組等                                                                                                                                              |
|---|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | プログラムが固定化されないように工夫しているか。                                        | ご本人、保護者様からの要望を聞きながら必要に応じた「出来ること」を増やしていきます。<br>「出来た」を増やして本人の自信を身につけ、自己肯定感を高めていけるよう支援を行います                   | プログラム以外でも必要に応じて支援の内容を色々試しながら、適切な方法とアプローチで子どもたちの成長をサポートしていきます。                                                                                               |
| 2 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。           | 体調面や怪我、発達の様子に関して気になることがあればすぐに共有をし相談しあえるようにしています。学校からの申し送りなどで気になったことも私たちのほうからも伝えさせていただき、ご家族への確認や情報提供をしています。 | 職員間、保護者の方とより連携できるように様々な方法でコミュニケーションをとっていきます。利用児童、ご家族の不安や、困り感を相談しやすい体制を強化していきたいと思います。また、プログラムの内容によっては本来の利用日ではない利用者にも声をかけ、個々の状況にあった支援の提供や活動への参加ができるようにしていきます。 |
| 3 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 毎日の掃除時には、玩具の消毒も含めて実施しています。美化意識を高め、子どもたちにも清潔な空間作りを意識した声掛けを行い、施設を使用する全員で気にかけていくように取り組んでいます                   | 引き続き、子どもたちの活動に合わせ室内の環境を整えています。職員自身が持ち物や備品の扱い方も意識しながら、同時に子どもたちの将来やご自宅で過ごす際に必要な生活自立スキルを身に付けていけるようにサポートしていきます。                                                 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること               | 事業所として考えている課題の要因等                                                                       | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                     |
|---|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。             | 月に1度程度、様々な状況を考えて訓練を行っており支援記録に記載したり申し送りなどで共有をしていますが、ご家族皆様への周知徹底には至っていないと思います。            | 必要なことがきちんと伝わるように情報発信のやり方を見直しています。お知らせを作成したり、事業所での取り組み内容を具体的にお知らせする工夫を行っています。             |
| 2 | こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し支援が行われているか。      | 小学生以上の利用者が多いため、集団の活動内容や難易度を合わせようとする未就学には難しいという課題が出てきています。全体でできる活動の内容をもう少し考案していく必要があります。 | 児童の特性に合わせ難易度分けや少しずつレベルアップしていく取り組み方、活動状況に差が出てしまわないよう全員が様々な視点で楽しく活動に参加できるように工夫していきたいと思います。 |
| 3 | ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等がない | プログラムとしてペアレントトレーニングは実施していない為、ご家族が相談しやすい環境づくりに努めているが、困り感の聞き取りはまだまだ不十分に感じることもある           | 当事業所での取り組みが難しい場合は、研修や関係機関などの情報を共有していきます。職員間でもペアトレの知識と理解を高めて資質向上を目指します。                   |